

報道関係者各位
プレスリリース

@ Press

2024年2月9日

鶴居村音楽祭実行委員会

**【北海道 鶴居村】鶴居村へ移住した指揮者「石川征太郎」氏と
地域に愛される音楽祭を開催したい！**

～ふるさと納税を活用したクラウドファンディングが4月30日まで受付中！～

【鶴居村音楽祭の開催を】

地域に愛され、鶴居村らしい音楽祭を開催したいとの思いから、コロナ禍をきっかけに鶴居村へ移住した指揮者・石川 征太郎氏をはじめ、想いに賛同したヴァイオリニスト・成田 達輝氏、チェリスト・上村 文乃氏、ピアニスト・中野 翔太氏、メゾソプラノ・林 美智子氏ら、国内外で活躍する音楽家5名の協力を得て、音楽祭の開催を計画しています。鶴居村では「タンチョウ再発見100周年」となる記念の年でもあり、万全を期した開催となるようこの度ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施いたします。



鶴居村をはじめ、釧路地域全体として地域の人口は年々減少し過疎化が進んでいます。そのため、都市部のように本格的な演奏を聴ける機会は限られ、演奏を聴く機会そのものも限られています。この鶴居の地で、本格的な演奏を聴ける機会を設け、地域の人たちが音楽を楽しむことができ、そして演奏家の人たちも、他ではめったに経験することのできない特別な音楽祭の開催を企画していきますので、ご支援、よろしくお願いいたします。

【クラウドファンディング内容】

1. 【目標金額】

1,000,000 円

2. 【募集期間】

寄付募集期間：2024年2月1日～2024年4月30日（90日間）

3. 【クラウドファンディング サイトページ】

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/2892>

4. 【令和6年度予定プログラム】

1924年に、絶滅したと思われたタンチョウ（鶴）が鶴居村内で再発見されて100年を迎えることとなる2024年は、「タンチョウ再発見100周年」にちなんで、スペシャルなプログラムを予定。

1日目（11月22日（金）） 村内全小中学校へのアウトリーチ活動

2日目（11月23日（土）） 村内各施設でのミニコンサート、公開リハーサル等

3日目（11月24日（日）） メインコンサート（鶴居村村民スポーツ・健康増進施設）

※やむを得ない事情により、予定プログラムが変更になる場合があります。

昨年の実施プログラムは、

1日目 村内全小中学校へのアウトリーチ活動、地元中学生へ演奏指導

2日目 自然環境を活かしたミニコンサート

3日目 メインコンサート（鶴居村村民スポーツ・健康増進施設）

演奏曲目 第一部

- ・久石譲：スタジオジブリ作品
- ・草野華余子：紅蓮華
- ・美岳章/美空ひばり：川の流れのように
- ・坂本龍一：戦場のメリークリスマス 他

演奏曲目 第二部

- ・ショスタコーヴィチ：ピアノ三重奏曲第2番ホ短調 Op. 67 他



小学校アウトリーチ活動



鶴居中学校吹奏楽部へ演奏指導



鶴居村の自然環境を活かした屋外コンサート



メインコンサート

【協力いただく音楽家 5 名】

《石川征太郎氏 指揮》

1985 年生まれ、東京都出身、鶴居村在住、鶴居中学校吹奏楽部の指導員を務める。

東京藝術大学音楽学部指揮科、ロベルト・シューマン音楽大学デュッセルドルフ指揮科卒業および同大学院修了。

藝大卒業時にアカンサス音楽賞受賞。2011、2012 年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2015 年国際リヒャルト・ワーグナー協会奨学生。2016 年第 1 回フェリックス・メンデルスゾーン国際指揮者コンクール第 2 位受賞。

レパートリーはバロックから現代音楽まで幅広く、国内外で新作初演も積極的に行なっている。2016 年サントリー芸術財団サマーフェスティバル国際作曲家委嘱シリーズ〈カイヤ・サーリアホ〉に出演。2018 年にはハンブルク州立歌劇場にてペーター・ルジツカのオペラ「ベンヤミン」の副指揮を務め、世界初演の成功に貢献するなど国内外で幅広く活躍している。



《成田達輝氏 ヴァイオリン》

ロン＝ティボー国際コンクール（2010）で第 2 位および SACEM 著作権協会賞受賞、エリザベート王妃国際音楽コンクール（2012）にて第 2 位およびイザイ賞受賞、仙台国際音楽コンクール（2013）で第 2 位受賞。

著名指揮者および国内外のオーケストラと多数共演し高い評価を得るとともに、リサイタルや室内楽においても圧倒的なテクニックと多彩な表現力を披露している。現代作曲家とのコラボレーションも積極的に行っている。海外での演奏活動も積極的に行っており、2018 年、2019 年には韓国平昌で行われた音楽祭に参加し、ソン・ヨルム、スヴェトリン・ルセフらと共演。2018 年はミンスクで行われたユーリ・バシュメット音楽祭にも参加している。

使用楽器は、ストラディヴァリウス“Tartini”（宗次コレクションより貸与）。



《上村文乃氏 チェロ》

桐朋学園大学ソリストディプロマコース卒業後、ハンブルク音楽演劇大学、バーゼル音楽院、スコラカントゥルムバーゼル(古楽科)に留学。

日本音楽コンクール第2位、イタリアトレヴィーゾ国際音楽コンクール、インディアナポリス国際バロックコンクール優勝など入賞歴多数。第23回ホテルオークラ音楽賞受賞、国内外のオーケストラとの共演や霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、チェロビエンナーレアムステルダム等の音楽祭に出演。バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとしても活躍中。ピリオド楽器を用いた歴史的演奏法にも取り組み、活躍の場を広げている。



《中野翔太氏 ピアノ》

1999年からジュリアード音楽院プレ・カレッジに留学。同音楽院を経て、2009年に同大学院を卒業。第15回出光音楽賞受賞。

これまでにデュトワ指揮/NHK交響楽団、小林研一郎指揮/読売日本交響楽団、小澤征爾指揮/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、アシュケナーズ指揮/NHK交響楽団等と多数共演。

近年は、大植英次指揮/大阪フィルとガーシュウィン『ラプソディー・イン・ブルー』、ジョナサン・ノット指揮/東京交響楽団とシェーンフィールド『4つのパラブル』を共演、神奈川県民ホールで開催された『浜辺のアインシュタイン』に出演した他、坂本龍一氏の指名によりピアノとオーケストラの作品を演奏。圧倒的な技術に裏打ちされた、豊かな表現力と透明な音色が高く評価されている。



《林美智子氏 メゾソプラノ》

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003年国際ミトロプーロス声楽コンクール最高位入賞。第5回ホテル

オークラ音楽賞受賞。

二期会、新国立劇場を中心に数多くのオペラに出演、2015年には紀尾井ホールにて「オリンピーアデ」のアルジェーネ、日生劇場にて「ドン・ジョヴァンニ」エルヴィーラ役と、初役に挑み卓越した歌唱と抜群の存在感を示した。

チョン・ミョンフン、パーヴォ・ヤルヴィなど国内外の指揮者と主要オーケストラに共演を重ね、また、モーツァルトのダ・ポンテ三部作オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」を自らプロデュースするなど人気、実力ともに群を抜くメゾ・ソプラノとして幅広く活動している。CDは、「赤と黒」「地球はマルイゼ〜武満徹：SONGS」、「ベル・エクサントリック〜林美智子ベル・エポック歌曲集」をリリース。大阪音楽大学特任准教授。



【鶴居村音楽祭実行委員会とは】

鶴居村に音楽文化を根付かせ、音楽の力で地域振興を図りたいとの思いから、村内有志達によってできた組織です。令和5年9月29日から10月1日に鶴居村で初となる音楽祭「タンチョウの里鶴居村音楽祭」を開催しました。村内在住の指揮者「石川 征太郎」氏にアドバイスを受けつつ、「地域に愛される音楽祭」をテーマに、鶴居村だからこそできる音楽祭の開催を企画していきます。

【鶴居村ふるさと納税を活用したクラウドファンディング サイト】

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/2892>



【鶴居村音楽祭・本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

鶴居村役場 企画財政課むらづくり推進係

担当：和田 彰

Tel：0154-64-2112

E-Mail：akira_wada@vill.tsurui.lg.jp